

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	保小中連携による教育活動の向上	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	事務局費	事業番号	1183		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	1	連番

R3年度

Goal(目標)	小1、中1で表れる問題やギャップなどの解消に向けた保小中の連携を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の連携による情報 ・園児・児童・生徒の交流 ・保護者への情報提供

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	0円			
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	保（幼）小連絡会・体験交流	回	4	10	10	250%
②	小中連絡会・交流授業・体験入学	回	2	2	2	100%
③	保護者対象学校説明会の実施（小中で実施）	回	2	2	2	100%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各連絡会、中学校出前授業、小中学校ともに体験入学を実施し、保小中間でのギャップ解消に努めた。 ・保護者への入学前学校説明会を実施し、学校生活への見通しを持ってもらえるようにした。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ようちえん、保育園の交流と小学校との接続についてカリキュラムも含めて改善に向かっている。 小学校中学年段階での不適応の発生を就学前と小学校就学開始時期の活動見直しにより未然に防ぐ。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 校長園長会や交流事業等によ、スムーズな接続ができるよう努めている。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
日頃から保小中との情報共有に加え福祉課との連携を強化し、児童生徒の特性や発達状況を早期に把握し、入学時等における精神的な障壁を乗り越えられるよう支援を行う。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特別支援教育における支援体制の充実	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	智頭小学校・中学校教育委振興・特別支援教育総合推進事業	事業番号	1593・1188・1987		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	2	連番

R3年度

Goal(目標)	支援体制づくりにより、発達障がい等を含む障がいのある子どもたちを適切に支援する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・早期支援コーディネーターの配置 ・特別支援教育支援員の配置

R3年度

Do(実行)	R3 実績額	18,921,000円			
活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
① 早期支援コーディネーター	人	1	1	1	100%
② 特別支援教育支援員数（小学校）	人	6	6	6	100%
③ 特別支援教育支援員数（中学校）	人	1	1	1	100%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・早期支援コーディネーターによる早期並びに継続的な園児、児童生徒の支援と教職員研修の実施。 ・必要人員を配置し、特別支援学級と支援を要する児童の安定を図ることができている。 ・支援の必要性に応じて優先順位をつけ、柔軟に支援員を配置することができるようになった。 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援児童生徒の多様化に対応するよう配置の調整を現状を踏まえて適切に行い、事業を継続する必要がある。 ・児童生徒の支援体制に資する人材（質と量）の見直しと確保が必要。 					

R3年度

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由：新たなコーディネーターの確保と、専門機関の活用が求められる。

R3年度

Action(改善)	<p>R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園と小、中学校が情報を共有し、保護者の育児不安や子どもの発達障がいなどの特性を早期にキャッチできる体制を構築する。
-------------------	---

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	学校評議員の意見を取り入れた学校運営の充実	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	社会教育委員費	事業番号	1189		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	3	連番

R3年度

Goal(目標)	学校と保護者、地域住民が連携協力し、地域に開かれた学校運営により子どもたちの健やかな成長を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員会の開催、学校開放日(参観日)による開かれた学校づくりを実施 ・ゲストティーチャーの活用による郷土学習の推進 ・コミュニティスクールの導入に向けた協議・検討

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	21,000円			
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	学校関係者評価委員会への参加（小学校）	回	2	2	2	100%
②	学校関係者評価委員会への参加（中学校）	回	2	2	2	100%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・評議委員会を開催し、地域に開かれた学校運営に努めた。 ・学校公開日の設定やゲストティーチャーによる授業を実施した。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場と学校評議員が連携し、地域に開かれた学校づくりに努めている。 ・学校公開により、保護者や地域住民への学校教育活動への理解と協力体制の構築が進んだ。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： コミュニティスクールの設置に向けた協議が進められている。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も現行の体制を維持し、地域に開かれた学校運営に努める。 ・令和4年度内にコミュニティスクールの理念を導入した小中学校の運営を目指す。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	教職員の教育力の充実	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	学力向上推進プロジェクト事業	事業番号	2001		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	4	連番

R3年度

Goal(目標)	子ども・保護者・地域から尊敬され、信頼される質の高い教師を養成・確保する
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間2回の町教育委員会学校訪問（小中学校） ・教職員授業力アップ研修会（夏季小中合同研修） ・県外の先進的な取り組みの視察

R3年度

Do(実行)	R3 実績額				0円
活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
① 町教育委員会学校訪問での指導助言	回	4	4	4	100%
② 教職員授業力アップ研修の実施	回	1	1	1	100%
③ 県外視察	回	0	1	0	-
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問により、学校の実態を把握し、教職員への指導助言を適時行った。 ・小中合同の夏季研修を行い、遠隔授業をICT活用で実施できるように技能を高めた。 				

R3年度

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の現状に求められる研修内容で研修が進められている。 ・県外の講師を招聘するのが難しい状況にあり、県内講師や指導主事による研修、リモートでの研修になる。 ・県外視察が困難な状況にある。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：ICTを活用し、教員教務の負担軽減とスキルアップ研修が求められる。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の影響により、今後も講演会や研修がリモートやオンラインでの対応となることが予想される。 ・ICTを有効利用し、必要な研修を適宜実施できる体制の構築に努める。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	学校現場でのICT機器の活用	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	智頭小学校・中学校教育振興事業／智頭小学校・中学校管理事業	事業番号	1593/1188/1599/1187		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	5	連番

R3年度

Goal(目標)	ICT機器導入により多様な学びと個別最適化した指導体制を展開し、児童生徒の学力、ICT活用能力を高める。				
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT機器およびネットワークの整備・保守 ・ ICT機器を活用した学びの充実(ICT支援員によるサポート) ・ 児童生徒の学力、ICT活用能力の育成（e－ラーニング教材） 				

R3年度

Do(実行)		R3 実績額		11,327,000円		
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	ICT機器の整備（タブレット）	台	360	0	0	0%
②	ICT支援員の配置	人	1	1	1	100%
③	e－ラーニング教材導入と情報モラル教育（メディコンウィーク）	校	2	2	2	100%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校ネットワークの整備、児童生徒一人一端末の整備 ・ ICT支援員の配置（授業支援及び教員の機器能力の向上） ・ e－ラーニング教材の導入と活用 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 年内にネットワークの整備が進み、年度末までに児童生徒一人一端末の整備が完了予定。 ・ ICT支援員導入により、教員の授業へのICT活用意識が高まってきた。 ・ 児童生徒一人一端末の整備後の授業と学び方の在り方を明確にし、活用の充実を図る。 				

R3年度

評価	B		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	B	評価理由： ICT化に対応した環境整備と、教員の活用スキルアップがなされている。					

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校内のICT化(ハード整備)が整い、ICT支援員による授業サポート体制を強化し、学校現場でICT機器を活用した授業が円滑に行われるよう支援すると同時に、先生のICT機器活用のスキルアップを行う。 ・ タブレットが老朽化しているものがあるので、随時更新を行う必要がある。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	児童生徒の顔が見える少人数学級の実施	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	智頭小学校教育振興事業	事業番号		1593	
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	7	連番

R3年度

Goal(目標)	適正な学級編成人数の保障により、児童生徒に対するきめ細かい指導・支援体制を作る。
Plan(事業概要・計画)	<p>県の少人数学級事業(小学1・2年30人、中学1年33人、他学年1学級35人以下)を活用し、全クラス少人数学級を継続実施する。</p>

R3年度

Do(実行)		R3 実績額		2,000,000円		
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	少人数学級該当学級数（小学校）	学級	2	1	1	50%
②	少人数学級該当学級数（中学校）	学級	0	1	1	-
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> 小学校第5学年、中学校第1学年の2学年に鳥取県の少人数学級事業を適用して学級編成。1学級25人程度の児童生徒数を実現し、適正規模でのきめ細かい指導・支援を実施。 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> 多様化する児童生徒の実態に応じた指導や支援を実施できた。 児童生徒数の減少により、今後、町負担の事業活用が増える。予算確保が必要となる。 				

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：少人数学級により、きめ細やかな学校運営に寄与している。				

R3年度

Action(改善)					
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画					
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの学力向上と情緒の安定を図り、発達・発育を支えるためには、少人数学級の活用が望ましい。 小中学校において、引き続き少人数学級の措置を行い、子どもの特性に寄り添える授業体制を構築する。 					

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	学校不適応児童生徒に対する適切な指導の推進	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	スクールソーシャルワーカー活用事業	事業番号	2057		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	8	連番

R3年度

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカー配置による児童生徒の相談・支援体制づくり。 ・児童生徒の家庭環境等の背景把握による不登校、学校不適応への対応。 ・みどりヶ丘教室等の教育支援施設、家庭教育支援チーム、福祉課等関連機関との連携を図る。

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	3,051,000円			
	活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	スクールソーシャルワーカーの配置	人	1	1	1	100%
②	児童生徒に係る教育相談への対応・支援	校	2	2	2	100%
③	みどりヶ丘教室による不登校支援	人	4	4	4	100%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校中心に児童生徒の様子を観察し、担任、教育相談担当との情報共有を行う。 ・家庭環境について関連機関と連携して情報収集し、ケース会議等での適切な対応につなげる。 ・みどりヶ丘教室等の教育支援施設による不登校児童生徒の支援。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりにいかない案件や、優先順位が高いものが並列的にあり、増加傾向にある。 ・家庭教育の多様化により、支援が必要な家庭が多く見受けられる。 					

R3年度

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由： 学校と家庭及び関係機関との接続・連携により、課題解消が進んでいる。

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に適應できない子どもが増加傾向にあり、今後ますますSSWの活用が重要となる。 ・学校と教育委員会、福祉課等の関係機関を繋ぎ、課題解消に向けたコーディネートが必要。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	学校と家庭の連携による良好な生活習慣の定着	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	家庭教育学級事業	事業番号	1199		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	①学び	事業番号	9	連番

R3年度

Goal(目標)	保護者と共に育む家庭教育及び豊かな子育ての推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する生活と家庭環境に関わらず、保護者の充実した子育てにより親子の良好な関係構築を応援する。 ・保護者の不安や困り感を早期に把握できる体制を整え、関係機関と協力して課題解消を図る。

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	116,000円			
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	小学校1年生の家庭訪問を実施	回	1	1	1	100%
②	子育て講座の開催	回	1	5	3	300%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉課と共に小学1年生の家庭訪問を計画したが、感染症の影響で電話での聞き取りに変更。今後も電話で行う。 ・家庭教育支援チームの活動で得られる効果が少ないため休止中。 ・保育園PTAを対象にペアレント・トレーニングを開催。子育て力を高めることで解消できる課題は多い。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問は保護者との関係をつくる接点に過ぎず、継続して対面できる機会が無ければ得られる効果は少ない。 ・講演会や正しいことを伝えるだけでは、保護者のやる気や関心は向上しない(集客も難しい) ・保護者同士の横の繋がりをつくりつつ、子育て力を高めていくペアトレは、手応えを感じる。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 保護者の子育て力の向上に向けた取り組みがなされている。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉課と連携し、妊娠期の保護者を対象に研修を企画する。児童虐待予防、子どもの健やかな育ちに繋がる。 ・家庭訪問を電話ヒアリングに切り替えたい。保護者の精神的な負担軽減によって、得られる情報が増える(気がする) ・前年度に続き、保育園PTA地区別研修会(ペアトレ)は継続したい。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	学校と家庭の連携による良好な生活習慣の定着	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	放課後児童クラブ	事業番号	1861		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	①学び	事業番号	9	連番

R3年度

Goal(目標)	子どもの健全育成を目的とした放課後の居場所づくりと保護者の就労支援
Plan(事業概要・計画)	<p>放課後の子どもの居場所を確保し、養育者の就労を応援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性(個性)に対応した関わり(見守り)で、子ども同士の自律と尊重意識を育てる。 ・支援員の対人支援スキルを伸ばすための協議・研修を行う。

R3年度

Do(実行)		R3 実績額		13,859,000円		
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	利用児童の登録人数	人	140	130	124	89%
②	支援員のスキルアップ研修実施	人・回	2	2	2	100%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる児童への対応と課題改善について支援員と意見交換を重ね、個々の特性に合わせた見守り対応を試みた。 ・支援員の面談を実施し、働きやすい環境づくりと次年度の統合に向けた協議・調整を行った。 ・次年度のクラブ統合に向けて、支援員との面談(意向確認)、利用申込みを早期に実施した。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員は日々子どもの成長のために何が出来るかを考えて従事している。家庭は就労支援のための一時預かりとしての認識が色濃い。保護者に対し、児童クラブの意義と家庭教育の重要性について理解を得る取組が必要。 ・支援員の資質は向上しているが、高齢化も進んでいる。今後の人材確保と運営の在り方の検討が必要。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：子どもの居場所と安全な遊び場を提供し、子どもの社会性向上に貢献している。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から土師クラブを廃止し、智頭クラブに統合する。早期に利用児童数を把握し、支援員の確保に努めたい。 ・長期休みの過ごし方やルールを子どもたちに決めさせ、主体性と自律、尊重意識を伸ばしてやりたい。 ・小学校特別支援員、給食センター職員等の協力を得て、支援員の負担軽減を図る。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	国際感覚の醸成（韓国江原道楊口郡との交流と英語教育の充実）	所属	教育課	SDG s	4・11	
事業（細目）名	外国語指導助手招致事業／国際交流事業	事業番号	1456／1529			
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	10	連番	76

R3年度

Goal(目標)	青少年の異文化理解を深め、国際感覚と幅広い視野で物事を考える力を身につける。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校にALTを配置し外国語教育を充実する。 ・韓国楊口郡との青少年交流により、中学生の世界観を広げ、将来にわたる心の成長を支援する。

R3年度

Do(実行)		R3 実績額			9,310,000円	
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	ALTの小中学校配置	人	1	1	1	100%
②	小中ALT合同授業	回	0	0	0	-
③	韓国訪問人数	人	0	0	0	-
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTを小学校、中学校にそれぞれ一名配置し、外国語の授業をTT（ティームティーチング）で実施する。 ・外国語担当教員、小学校教員、ALTで連携し、小学校から中学校へのスムーズな外国語教育の移行を図る。 ・保育園でALTと園児との交流を図り、英語に親しめるようにする。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語活動、外国語科が本格実施され、小学校でのALTの活動場面は多くなった。教員の指導力向上とALT活用の両面で児童生徒の外国語への親しみと理解力を高める必要がある。 ・韓国との交流は感染症の影響を危惧し中止。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：学校現場におけるALTの有効活用が課題。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT(2名)の更新となる。新規ALTが、智頭町での暮らしや学校現場に慣れるための支援を行う。 ・今後も保育園、小・中学校の様々な場面でALTを活用した外国語教育を進める。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	学校図書館の充実（学校司書配置継続と図書館との連携強化）	所属	教育課	SDG s	4・11	
事業（細目）名	智頭小学校／中学校教育振興事業	事業番号	1593／1188			
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	11	連番	77

R3年度

Goal(目標)	子どもが楽しく学び、心を育むための読書の推進と学校図書館の充実を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校図書館への学校司書配置継続 ・ちえの森ちづ図書館との連携強化 ・図書購入費の充実

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	6,610,000円			
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	小中学校図書館へ学校司書を配置	人	2	2	2	100%
②	図書購入達成率	%	100	100	100	100%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校図書館へ学校司書を配置（会計年度任用職員） ・ちえの森ちづ図書館と連携し、授業支援や司書の研修を実施。 ・学校図書館の蔵書目標達成のための図書購入の予算化。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策を取りながら図書館での活動を実施している。 ・図書の充実、ちえの森ちづ図書館との連携により、子どもたちが読書に親しみ、学ぶ体制が確保できた。 ・小学校、中学校ともに学校図書館図書標準を達成した。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 学校各1名の学校司書を配置し、児童生徒の学びの深化に貢献している。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館及びちえの森ちづ図書館を有効に活用し、子どもの学習意欲を刺激する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	智頭町教育ビジョンに基づく教育（成果の検証とさらなる向上対策の推進）	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	教育委員会費／地域で育む学校支援ボランティア事業	事業番号	1182／1995		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	12	連番

R3年度

Goal(目標)	智頭町を愛し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和がとれ、『生きる力』をもつ子どもを学校・家庭・地域で育成するという基本理念の達成のため教育ビジョンに基づき取組と検証を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的学習 学校における各教科、総合的な学習の時間を中心に、ふるさとキャリア教育実施する。

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	1,317,000円			
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	地域を素材とした学習の展開	校	2	2	2	100%
②	地域のボランティア人材の有効活用	校	0	1	1	-
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科、社会科、総合的な学習の時間を中心とした地域に根差した学習の実施。 ・町内学校ボランティア人材の活用。 ・中学校百人委員会への提案。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた地域学習を進めることができた。 ・町内学校ボランティアを活用し、地域の強みを生かした学びができた。 ・児童生徒の学びのプロセスを十分保障し、智頭の良さを感じられる活動の在り方を検討する。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 小学校の特性を活かした学びの機会を維持・継続できている。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源やコミュニティを活用し郷土学習を深め、地域への愛着や将来を見据えた学びへと導く。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	青少年の健全育成の推進	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	町成人式費／社会教育事業	事業番号	1194／1195		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	13	連番

R3年度

Goal(目標)	青少年育成指導員を中心に子どもたちの成長に繋がる体験活動や活躍の場を準備する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成指導員のスキルアップと組織強化を図り、子どもたちのニーズに沿った活動を展開する。 ・智頭町成人式の開催を支援する。

R3年度

Do(実行)		R3 実績額			1,608,000円	
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	指導員協議会の開催	回	7	10	10	143%
②	青少年の育成に関するイベント開催	回	4	8	6	150%
③	智頭町成人式の開催	回	0	2	2	-
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ教室の実施 ・指導員協議会の定期開催 ・令和3年成人式（延期分）の実施、令和4年成人式実施に向けた準備 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・サマーキャンプが中止となったが、チャレンジ教室の開催を計画 ・延期となっていた令和3年智頭町成人式を挙行 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：感染症に配慮した成人式の準備が進められている。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員協議会開催の出席率 ・子どもの感受性、協調性を育む事業の企画 ・感染症対策を講じた成人式の挙行

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ちづNEXT	所属	企画課	SDG s	11、17
事業（細目）名	百人委員会費	事業番号	1895		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	14	連番

R3年度

Goal(目標)	中学生が智頭町のことを学習することで郷土愛を育み、その経験を活かし百人委員会の企画立案や実践に繋げる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の総合学習で智頭町に関する学習を実施。（5月～10月） ・授業を通して、百人委員会企画提案に繋げる。（10月～12月）

R3年度

Do(実行)					R3実績額			0円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)		
①	ちづNEXT(授業)	回	2	4	4	200%		
②	担当教諭との打ち合わせ	回	5	5	8	160%		
③								
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・第1回ちづNEXT開催（6月29日） ・第2回ちづNEXT開催（7月5日） ・第3回ちづNEXT開催（9月21日） ・第4回ちづNEXT開催（10月14日） ・その他担当教諭との協議 ・百人委員会中学生提案（12月2日） 						

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・SDG sをテーマに座学を行い、鳥取大学、専修大学等の協力のもとワークショップを開催。 ・生徒発案での百人委員会提案へ繋げた。 ・ワークショップから提案までの期間が短く、十分な検討期間を設けることができなかった。 				

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：本事業の取組の意義、目的をしっかりと理解した上で遂行すべき				

R3年度

Action(改善)						
R3実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画						
<ul style="list-style-type: none"> ・企画提案につなげるスケジュール等の共有、中学生の意欲を引き出す事が重要。 ・1～3年生毎に年間スケジュールを調整し、計画的に実施することが必要。 ・役場SDG s推進チームの協力を求める。 						

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地域の良さと歴史文化など、郷土を大切にする学習の導入	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	地域に学ぶワクワクちづ事業	事業番号	1536		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	15	連番

R3年度

Goal(目標)	智頭町で生まれ育つ子どもたちが、智頭を学ぶことによって将来にわたって郷土に愛着を持ち、将来、智頭に住んでも、智頭の外に住んでも、郷土を愛する心の育成を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクワクちづ（職場体験） ・百人委員会事業活用、各課との連携推進（山村再生課、企画課、福祉課等） ・地域住民との交流、地域に出かけ学ぶ活動の実施。

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	0円			
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	職場体験学習の実施回数	回	0	0	0	-
②	職場体験の受入先の事業所数	箇所	0	0	0	-
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の影響により未実施 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「ワクワクちづ」の実施は感染症防止対策との兼ね合いがあり、今後の在り方を検討する必要がある。 ・百人委員会事業活用では、学校負担過多にならない工夫をして学習を進める必要がある。 ・地域の人の仕事や、地域資源を知り、郷土を愛する心を育てる授業を実施することができた。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 感染症の拡大により、近年実施を見合わせている。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・就業体験の機会は、子どもが将来の自身の姿を想像し、見通しをたてる良い機会であり、意義が深い。 ・今後、実施できる方法を再検討する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	図書館を中心にした賑わい創出	所属	教育課	SDG s	4
事業（細目）名	図書館費	事業番号	1770		
総合計画	基本理念	III子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	①学び	事業番号	18	連番

R3年度

Goal(目標)	住民に愛され必要とされる場となることを目指す
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を多くの住民に知ってもらうことにより、利用だけでなく図書館を中心にした新たな住民の交流を目指す。 ・関係課や関係団体との協議により、図書館だけでなく新たな賑わいを創出する幅広い事業を実施する。

R3年度

Do(実行)	R3 実績額	155,792円			
活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
① 講座・講演会等の開催	回	2	2	2	100%
② 地域への出前講座	回	2	3	4	200%
③ 地域と連携した事業実施	回	4	12	31	775%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携事業（講座13回、展示18回） ・地域への出前講座 ・講演会、講座の開催 ・ボランティアと連携した事業委託（開館1周年記念） ・図書館Webサイトの充実 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新図書館が開館し、多くの方から連携した事業提案をもらい実施することができた。 ・延入館者数が開館前の予想を大きく上回り、今後は図書館から広がる賑わいの創出について取り組む必要がある。 (新図書館開館後延入館者 72,113人 3月末現在) 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：多様なニーズに対応したサービスを実施し、住民との連携を図っている。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・住民が求める多様な活動が、自主的に実施できる場となれるように地域との連携を図る。 ・図書館サービスについての広報に努め、図書館が住民の居場所や交流の場所となることを周知する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	各文化サークルの活動支援と参加者の加入促進	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	文化振興事業／生涯学習事業		事業番号	1193／1202	
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	19	連番

R3年度

Goal(目標)	智頭町文化協会の活動支援、文化活動の参加、サークルへの加入促進、学習意欲向上
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟団体における活動の充実 ・文化活動支援による住民参加促進 ・生涯学習講座の開催、麒麟のまちアカデミー講座開催協力

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	80,000円			
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	智頭町文化祭展示発表会来場者数	人	240	0	0	0%
②	代表者会の開催	回	6	8	8	133%
③	生涯学習講座の開催	回	1	2	2	200%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化協会団体への活動支援(19団体) ・生涯学習講座の開催(7月・10月) ・麒麟のまちアカデミー講座(オンライン)拡張に向けた協議 					

R3年度

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症対策のため、予定していたサマーコンサート、ふれあいコンサート、文化祭を中止とした。 ・伝統文化の継承において、会員の高齢化による団体維持が困難となってきているので、若者の継承者を育成する。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：図書館事業と連携した趣味と学びの機会を提供している。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<p>各加盟団体で、引き続き後継者の確保、加入促進に向けて活動を継続する。</p> <p>生涯学習講座を継続して開催しつつ、現在ある生涯学習活動団体の新規(若者)獲得を図る。</p> <p>・麒麟のまち連携中枢都市圏(1市6町)と協力をしながら、学習の種類や幅を拡張させ、交流や共有へと繋げる。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	文化財保護・活用方策の明確化	所属	教育課	SDG s	4,11,15
事業（細目）名	文化財保護事業	事業番号	1192		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	20	連番

R3年度

Goal(目標)	町内文化財を保護、活用し、町民の郷土愛を育む。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内文化財の調査研究 ・智頭の林業景観整備計画策定

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	2,373,000円			
	活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	文化財の調査	回	1	2	3	300%
②	智頭の林業景観整備検討委員会の開催	回	2	3	2	100%
③	智頭の林業景観整備計画策定調査	%	50	100	100	200%
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の歴史的建造物を回り保存状態の確認、写真を記録した。 ・智頭の林業景観整備計画策定に向けた調査を実施。 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物を調査し、現状や劣化状況など把握した。 ・整備検討委員会及び調査により智頭の林業景観策定に向け情報が集まった。 ・「重要な構成要素」の老朽化が進み修繕費用の増加が見込まれる。 				

R3年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 林業景観策定のとりまとめにより、今後の活用検討が求められる。				

R3年度

Action(改善)	
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画 <ul style="list-style-type: none"> ・未指定の文化財の調査研究を行う。 ・令和3年度で策定した智頭の林業景観の整備計画を実行していく。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	文化財保護・活用方策の明確化	所属	教育課	SDG s	4,11,15
事業（細目）名	歴史の道整備活用推進事業	事業番号	1506		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	20	連番

R3年度

Goal(目標)	歴史の道のき損箇所を復旧し、集客を目指した事業展開
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年豪雨によりき損した歴史の道を復旧する。

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	3,341,000円			
	活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	災害復旧工事の進捗	%	100	100	70	70%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 災害復旧工事を施工 →一部材料の納期が送れたため来年度へ繰越 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 大雨等の自然被害による対策が必要である。 					

R3年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 災害復旧が進められている。復旧後の活用が課題。				

R3年度

Action(改善)	
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画 <ul style="list-style-type: none"> 引き続き災害復旧工事を行う。 岡山県側の志戸坂峠の国指定史跡を目指す岡山県西栗倉村と協力して峠越えの活用を図る。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	文化財保護・活用方策の明確化	所属	教育課	SDG s	4,11,15
事業（細目）名	板井原集落整備活用推進事業	事業番号	1507		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	20	連番

R3年度

Goal(目標)	伝統的建造物群保存地区の文化財価値を維持する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・き損及び老朽化した家屋等を修繕整備

R3年度

Do(実行)	R3 実績額				0円
活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
① 板井原集落保存協議会の開催	回	0	1	1	—
② 伝統的建造物群保存地区保存整備費補助金の交付	人	1	1	1	100%
③					
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・板井原集落保存協議会と伝統的建造物群の保護について協議した。 				

R3年度

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・建造物の老朽化が進み修繕費用の増加が見込まれる。 					

R3年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：暮らしのある集落を維持するために、関係課との連携が求められる。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した家屋等を修繕整備を行い、伝統建築物の保安全管理を行う ・集落協議会と今後のあり方について協議が必要

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	文化財保護・活用方策の明確化	所属	教育課	SDG s	4,11,15
事業（細目）名	石谷邸保存活用整備事業	事業番号	1562		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	20	連番

R3年度

Goal(目標)	来館者の増加を目指し、持続可能な運営を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・石谷家住宅の維持管理 ・修繕箇所の対応 ・年間を通じたイベントの開催

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	26,124,000円			
	活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	石谷家住宅の来館者	人	9585	19000	9000	94%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・石谷家住宅の維持管理を努め文化財として価値を保存した。 ・他団体と連携しイベント等により活用を図った。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なイベントを企画したが、新型コロナウイルスの影響があり来館者が大幅に減少している。 ・修繕箇所はその都度対応したが、今後も修繕費用の増加が見込まれる。 					

R3年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 感染拡大により利用促進が困難だが外部人材を活用した活性化が求められる。				

R3年度

Action(改善)	
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの対策をしながらPRを行う。 ・重要文化財としての資質を残しつつ、コストを削減した維持管理が必要。 ・入館者数の増につながる、展示物等の企画立案を充実させる

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	文化財保護・活用方策の明確化	所属	教育課	SDG s	4,11,15
事業（細目）名	遺跡発掘事業	事業番号	1477		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	20	連番

R3年度

Goal(目標)	町内埋蔵文化財の認知度向上
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器づくり体験 ・勾玉づくり体験教室 ・智頭枕田遺跡出土遺物の周知

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	2,873,000円			
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	縄文土器づくり体験の参加者	人	11	10	13	118%
②	勾玉づくり体験の参加者	人	13	10	13	100%
③	智頭枕田遺跡展の開催	回	1	1	1	100%
実施内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器づくり体験を開催 ・勾玉づくり体験教室を開催 ・ちづ図書館で智頭の縄文土器展を開催 						

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器づくり体験、勾玉づくり教室は例年より参加者が増えた。 ・「智頭枕田遺跡を保存活用を推進する会」のメンバーの高齢化により、体験学習の継続が懸念される。 						

R3年度

評価	B
-----------	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
-----------	---

評価理由： 子どもたちが歴史に触れ、郷土を学ぶ機会を提供している。
--

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器づくり体験の開催方法を改善する必要がある。 ・小学生を対象とした事業は充実しているが、広い年代が埋蔵文化財へ興味を持つような仕掛けが必要。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地域伝統文化の後継者育成	所属	教育課	SDG s	4,11,15	
事業（細目）名	文化財保護事業	事業番号	1192			
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	20	連番	85

R3年度

Goal(目標)	地域伝統文化を持続させる
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統芸能、伝統文化の保存活動の支援 ・ 無形民俗文化財の記録・保存

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	0円			
	活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	町内伝統芸能の支援する補助金の交付	件	0	0	0	-
②	伝統芸能を披露する催しの開催	回	1	3	2	200%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石谷家住宅で麒麟獅子舞の演技を披露するイベントを開催 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新田人形浄瑠璃は、黒子衣装を揃えたことで、新たに加したメンバーが演技に参加できるようになった。 ・ 石谷家住宅で芦津の麒麟獅子舞お披露目イベントを開催し、多くの方に見物いただいた。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 衰退傾向にあ郷土芸能等の披露・活用の機会をどう増やすかが課題。				

R3年度

Action(改善)	
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統芸能、伝統文化を披露する場を提供し、保存団体のモチベーションの維持に繋げる。 ・ 県指定有形民俗文化財 智頭の林業道具の保存活用を考える必要がある

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	各地区公民館の地域の生涯学習拠点施設としての明確化	所属	教育課	SDG s	3・4・11
事業（細目）名	地区公民館費	事業番号	1208		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	22	連番

R3年度

Goal(目標)	地区住民による公民館活動を展開し、暮らしを彩る学びを増やす
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館の施設の管理（随時） ・各部屋の調整及び維持管理（随時） ・地区住民の公民館活動の計画、実施

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	25,684,865円			
	活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	各地区公民館の維持管理	回	2	2	2	100%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館の施設の管理（随時） 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な修繕とは言えないが、随時修繕が行えた ・運動会や地区公民館祭など大きな事業については開催を取りやめたが、徐々に公民館活動を実施してきている。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：感染症の影響により社会教育活動を休止せざるを得ない状況であった。				

R3年度

Action(改善)	
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活様式を取り入れ、会議や行事について方法を考えてもらい、目標を達成する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	各地区公民館と中央公民館の役割の明確化と連携強化の促進	所属	教育課	SDG s	3・4・11
事業（細目）名	中央公民館事務費	事業番号	1200		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	23	連番

R3年度

Goal(目標)	中央公民館の運営と地区公民館との連絡調整を図り、暮らしを彩る学びを増やす
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館連絡協議会の開催（随時） ・ 地区公民館主催の行事の巡視 ・ 東部地区社会教育関係者研修会への参加

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	20,379,683円			
	活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	東部地区社会教育関係者研修会参加	人	1	1	1	100%
②	地区公民館祭の巡視	人	1	1	1	100%
③	公民館連絡協議会の開催	回	2	2	1	50%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地区公民館の行事進捗状況の把握 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナウイルス感染症拡大防止のため、各地区の行事が中止となったが、地区公民館の状況把握を共有できた。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由： 感染症の影響により社会教育活動を休止せざるを得ない状況であった。				

R3年度

Action(改善)	
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい生活様式を取り入れ、会議や行事について方法を見直し、目標を達成する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	各地区公民館と中央公民館の役割の明確化と連携強化の促進	所属	教育課	SDG s	3・4・11
事業（細目）名	中央公民館管理事業	事業番号	1207		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	23	連番

R3年度

Goal(目標)	中央公民館の施設及び環境整備を行い、生涯学習拠点施設とする
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館の施設の管理（随時） ・各部屋の調整及び維持管理（随時）

R3年度

Do(実行)		R3 実績額		10,343,941円		
	活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	各部屋の利用実績人数の把握	月	12	12	12	100%
②	電気、ガス、水道等の使用料の把握	月	12	12	12	100%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各部屋の利用状況、状態の把握 ・電気、ガス、水道の使用料の把握 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルス感染症拡大防止のため、各部屋の使用が減少したが、使用可能にする対策を講じた 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 老朽化が進む施設のメンテナンスをしつつ、有効に活用している。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
施設の老朽化により年次的な修繕が必要となるが、住民活動の促進のためにメンテナンスをしつつ効果的な活用を進めたい。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	図書館事業	所属	教育課	SDG s	4
事業（細目）名	図書館費	事業番号	1770		
総合計画	基本理念	III子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	①学び	事業番号	24	連番

R3年度

Goal(目標)	住民の生涯学習拠点として、資料を整備し図書館サービスと読書事業の展開を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館サービスの充実と新規図書館利用者の開拓 ・子どもの読書環境の整備 ・地域資料の充実 ・高齢者の読書活動の支援 ・図書館利用啓発事業

R3年度

Do(実行)		R3 実績額			29,140,203	
	活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	新規利用者登録数	人	322	300	280	87%
②	1人あたりの貸出冊数	冊/年	6.8	8	9.3	137%
③	延貸出利用者数	人	11,686	12,000	14,288	122%
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新図書館サービス計画の策定 ・図書館Webサイト、Facebookの活用 ・保育園、学校図書館との連携 ・地域資料寄贈の呼びかけと献本の受入 ・あたまイキイキ音読教室などの事業実施 ・図書館資料の見直し、蔵書の整備 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新図書館開館後の運営を見直し、図書館サービス計画を新しく策定した。今後の実施が重要になる。 ・地域資料をはじめ、図書館資料の見直しを始めている。地域に必要とされる蔵書の整備が必要となる。 ・保育園、小学校、中学校等との連携による子どもの読書活動の推進を図っている。 				

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 住民の生涯学習拠点として図書館運営を行い、利用者増を図れている。				

R3年度

Action(改善)	
	<p>R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・策定した図書館サービス計画を住民の姿から見直し、検討を行い充実させる。 ・図書館サービスや利用について、住民への周知を図り、利用者を広げる。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	智頭農林高校との連携	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	智頭農林高校協働連携事業	事業番号	2008		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	16	連番

R3年度

Goal(目標)	行政と智頭農林高校が連携し、農林高校の魅力アップ、活性化を図る。また、百人委員会学生の部に参加し、学生自らが汗をかき、実践することで、やりがいを生ませることを目的とする。
Plan(事業概要・計画)	・百人委員会学生の部への参加

R3年度

Do(実行)		R3実績額	300,000円			
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	ちのりんショップの開催	回	6	8	8	133%
②						
③						
実施内容	・百人委員会活動の実践・企画提案会への参加（智頭宿魅力アッププロジェクト、ちのりんショップの運営）					

R3年

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・地元高校生の百人委員会への参加により、郷土愛の醸成に繋がった。 ・智頭宿魅力アッププロジェクト、ちのりんショップの運営により、智頭宿や商店街の活性化に繋がった。 ・県教委、農林高校と協働で魅力アッププロジェクトのスタート。					

R3年度

評価	B		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	B	評価理由： マンネリ化している感があり、ブラッシュアップを農林高校と協議する必要がある					

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	・引き続き百人委員会への参加を促す。 ・智頭農林高校と定期的に協議し、情報共有を図る。 ・魅力アッププロジェクトの継続、たまり場創設の予算化。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	森林・林業教育の推進（児童・生徒の学習体験、木育の推進等）	所属	山村再生課	SDGs	4,15	
事業（細目）名	山と暮らしの人づくり事業	事業番号	2085			
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	17	連番	90

R3年度

Goal(目標)	幼少期から木にふれあい、森林への関心を醸成し、生活の中における木材への関心を深める。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の新生児に木製おもちゃ（智頭町産材製）を誕生記念として贈呈 ・ 木育キャラバンin智頭町の開催

R3年度

Do(実行)		R3実績額	688,510円			
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	新生児木のおもちゃ贈呈	人	30	40	28	93%
②	木育キャラバンin智頭町参加者	人	0	250	0	-
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年7月に智頭町民泊フォトロゲイニングと同時開催で木育キャラバンを実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大により両イベント開催を延期。 ・ 令和4年2月に新生児木のおもちゃ贈呈と併せて木育キャラバンを開催を予定したが、感染症状況をみて中止とした。 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 新生児への木のおもちゃ贈呈は令和3年度で5回目となり、町民の認知度は高く、木育への興味関心が広がりつつある。 ・ 木育キャラバンの開催については、運営を芸術と遊び創造協会（東京）へ委託しているため、新型コロナウイルス感染症対策が課題。 				

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 幼少期から木にふれあい、木の良さを感じてもらえる環境であることが必要				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら木育キャラバンを開催する。 ・ 木育キャラバンに参加しやすい時期（冬以外）、他のイベントとの同時開催を検討する。 ・ 新生児への木製おもちゃの贈呈について、より木育の趣旨を理解してもらえるよう検討する。

第7次総合計画進行管理検証シート(連番13を統合)

事業名	企業支援事業	所属	企画課	SDG s	8
事業(細目)名	商工振興費	事業番号	1165		
総合計画	基本理念	III 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仕事	事業番号	12	連番

R3年度

Goal(目標)	企業ニーズに応じた柔軟な補助制度の検討及び創設。				
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内企業訪問による個別ヒアリングシートの作成。 ・ 外部人材のノウハウや知見を活用した企業計画の策定。 ・ 智頭町・鳥取県補助制度の周知。 ・ 新型コロナウイルスの影響を受けた町内中小企業の事業継続を図るための企業支援。 				

R3年度

Do(実行)	18,283,000円					
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	(コロナ) コロナに負けるな中小企業支援交付金 ※実績確定数値	件	26	23	28	108%
②	新規創業及び店舗改修補助の実施	件	2	6	6	300%
③	副業・兼業外部人材活用支援事業を活用した外部人材とのマッチング件数	件/1社	-	5	3	-
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副業兼業外部人材活用支援事業制度の策定及び実施。 ・ 町内企業訪問による町内物品・製品等の把握。 ・ 商工会と協力し、コロナ被害を受けた中小企業者への補助制度創設。 ・ 新規創業、店舗改修事業の効果的な活用。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナで打撃を受けた町内中小企業に迅速な支援(第2・3弾コロナに負けるな中小企業支援金)を行った。 ・ 外部人材と町内事業者とをマッチングし、事業計画の策定を実施してもらうことで企業力の強化が図れた。 ・ 企業訪問により入手した情報を庁舎内や関連団体に共有し、有効に活用していく必要がある。 ・ 新規創業及び店舗改修補助金を有効に活用した。 					

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由:	コロナ感染症による影響を最小限に抑える事業は迅速に対応出来た。しかしながら、企業訪問が定期的に行っていない。			

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度、桜土手のライトアップ用にトミサワ製のLEDライトを購入予定。それ以外にも、企業訪問により得た情報を役場内で共有し、公共工事において町内企業の製品を導入するなど、課を超えた連携も行っていく。 ・ 令和4年度においても、コロナで売上が減少した町内中小企業の支援(国の経済対策の対象外となった事業者への支援)を行う。 ・ 状況に応じた支援策を迅速に行っていくため関係機関(商工会等)との情報交換を積極的に行う。 					

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	イベント活性化促進事業	所属	企画課	SDG s	9
事業（細目）名	地域支援推進事業	事業番号	2021		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	3	連番

R3年度

Goal(目標)	町内のイベントに出店団体の参加を促す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・「杉小判」を活用し、町内イベントへの出店者の増加を目指すことで、町全体の盛り上がりを図る ・地域活性化制度の周知 ・制度について問題点等の検討

R3年度

Do(実行)		R3実績	0円			
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	対象イベント開催回数	回	0	1	0	－
②	杉小判交付団体数	団体	0	6	0	－
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対象イベントが中止になる可能性が考えられたため地域通貨発行条件の最低出店回数を変更を検討。 ・対象の4イベント中3イベントが中止又は出店無し。 ・地域活性化制度を周知した。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・対象イベントが中止又は出店無しのため実績無し。 					

R3年度

評価	C		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	C	評価理由： コロナ禍で厳しい事業だと思うが、アフターコロナを見越して今後計画する必要がある					

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度導入されたまちのコインを活用するなど、イベント参加促進の再検討が必要。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ゼロイチの更なる発展	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	日本1/0村おこし運動	事業番号	1482		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	4	連番

R3年度

Goal(目標)	日本1/0村おこし運動を行っている地区振興協議会のソフト事業に対し補助を行う。また、地区振興協議会が行政と住民の中間的組織となり、自立した地域運営組織となる事業を行う。その他事務局員に集落支援員等を配置し、事業運営を促進する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な連絡協議会の開催 ・ 指定管理者制度の導入 ・ 円滑な事業運営を行うための集落支援員の配置 ・ 各地区振興協議会事務局との連携強化 ・ 各地区における将来ビジョンの形成・具現化 ・ 補助制度終了後の地区のサポート

R3年度

Do(実行)		R3実績額		15,374,663円		
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	連絡協議会の開催	回	4	3	2	50%
②	補助件数	件	3	2	2	67%
③	指定管理者制度導入数（地区振）	団体	3	4	4	133%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 連絡協議会を1回開催 ・ 土師地区振興協議会、富沢地区振興協議会へ補助金交付 ・ 山形地区、いざなぎ、富沢地区、山郷地区振興協議会が指定管理者制度を導入 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍における運営への影響など定期的に情報共有する必要がある。 ・ 集落支援員の配置により各地区振興協議会における円滑な事業運営に貢献した。 				

R3年度

評価	B
----	---

担当課長評価

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

評価理由： 長年続いた事業も一区切りであり、これからのコミュニティビジネスを考へていく必要がある。本町の肝となる事業である

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き各地区振興協議会が連携を取り、地域活性化の強化を図る。 ・ 指定管理者制度導入後に発生する問題に対して柔軟に対応していくことが必要。 ・ 今年度で全地区振興協議会の補助金期間が終了するので、自立に向けた運営に向けて働きかけが必要。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	空き校舎等活用推進	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	空き校舎等利活用推進事業	事業番号	1966		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	7	連番

R3年度

Goal(目標)	廃校となった5つの空き校舎を地元住民が活用について検討し、地域に見合った利活用を検討し、実践する。また活用するにあたり、インフラ整備については、行政が一部補助を行い、空き校舎の利活用を推進する。さらには先進地視察を行い情報収集し、今後の活動に活かす。				
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区内の空き校舎の利活用に向けた事業協議の実施 ・利活用に向けた企業誘致等 ・地区の要望に添った校舎の改修 ・指定管理者制度に関する設備整備 ・空き校舎等利活用幹事会の開催による情報共有・要望調査の実施 空き校舎利活用の先進地の活用事例等の研究				

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額		154,305,000円			
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	補助金の利用件数	件	2	1	1	50%
②	先進地視察	回	2	2	0	0%
③	旧那岐小学校の改修	%	0	100	60	-
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・山郷地区振興協議会が1社のテナント（音楽関係スタジオ）誘致 ・山形小学校のトイレ改修へ補助。 ・旧那岐小学校改修を実施→3月末で60.4%の進捗（R4年度へ繰越） ・空き校舎等利活用幹事会を開催1回 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・旧山形小学校を改修し、利用者の利便性向上に繋がった。 ・旧那岐小学校改修について、引き続き適正な監視が必要。 ・指定管理者制度について那岐、富沢、山郷、山形のスムーズな更新を行うこと。 				

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 本町の特徴である事業で、今後は地域経営の柱となる事業。しっかりブラッシュアップしてほしい				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・旧那岐小学校改修一期工事の繰越分、二期工事の発注等を確実に執行する。 ・旧校舎の指定管理の適正な更新。 ・各地区での研究や、先進地視察で得た情報を具現化（これまでの研究成果や、先進地視察を通じて得た情報を持ち帰り、それぞれの地区でできることを検証しアウトプットする） ・引き続き各地区の連携強化を図り、各地区独自の利活用・活性化を検討（今後も各地区が情報共有を図り、企業誘致等を始め独自の取り組みを検証し、地域経営や活性化に結び付ける） 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地域体育館（空き校舎）の生涯学習・交流の場としての活用	所属	教育課	SDG s	4
事業（細目）名	公共施設管理事業	事業番号	2029		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	③仲間	事業番号	11	連番

R3年度

Goal(目標)	旧小学校等の教育施設を地域活動及び交流の場として活用し、生涯学習の推進を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・町公共施設(旧土師小学校・旧山形保育園・町内遊具等)の適正な管理を行う

R3年度

Do(実行)		R3 実績額			5,616,000円	
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	管理する施設数	施設	2	2	2	100%
②	安全点検を行う遊具設置施設	施設	7	7	7	100%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・旧土師小学校の井戸水、光熱設備、消防設備等の機能を保持するために適正に管理を行った。 ・町内7施設に設置された遊具の安全点検を行い、必要に応じて修繕または撤去を行う。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理に必要な点検・改修を行った。 					

R3年度

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由： 遊休施設の利活用と適正な維持管理が行えている。

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・旧小学校施設の多くは指定管理委託を実施しており、旧土師小学校も地区で維持管理できる体制が理想である。 ・今後、個別施設計画に基づいた維持管理とコスト削減、地区住民等による利活用の推進が求められる。 ・遊具の安全点検結果に基づき、老朽化した遊具の修繕または撤去を行う予定。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	百人委員会	所属	企画課	SDG s	11、17
事業（細目）名	百人委員会費	事業番号	1895		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	11	連番

R3年度

Goal(目標)	町民がまちづくりに参加し、町をよりよくしようという意識を醸成する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・百人委員会各部会の開催（随時） ・百人委員会総会の開催（3月） ・百人委員会中学生の部を計画的にフォロー ・百人委員会提案会の開催（12月）

R3年度

Do(実行)	R3実績額					1,792,476円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	次年度企画提案数	件	13	13	13	100%
②	百人委員会委員数	人	98	98	98	100%
③	企画実行数	件	11	10	9	82%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・百人委員会各部会の実施 ・次年度企画提案 一般 9件 高校生 2件 中学生1件 ・運営委員会の開催3回 ・防災部会の立ち上げ 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルス感染症拡大防止のため、出発式が中止となったが、各部会が出来る範囲で活動した。 ・新規部員の加入もあり、少しずつ部会内の活性化に繋がっている。 				

R3年度

評価	B
----	---

担当課長評価

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

評価理由：	住民の認知度も高く、本町のオリジナル事業であるため、しっかりとブラッシュアップしてほしい
-------	--

R3年度

Action(改善)	<p>R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の提案を実行し、今年度の提案内容を検討するための活動を支援する。 ・百人委員会ニーズ調査を実施し、仕組みの改革を図る。 ・引き続き参加意欲が創出される仕組みづくりが必要である。 ・新しい生活様式を取り入れ、会議や発表の場について方法を見直し、オンラインや動画を活用する。
------------	---

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	総合計画周知及び実践事業(検証含む)	所属	企画課	SDG s	11
事業(細目)名	まちづくり事務費	事業番号	1011		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	③ 仲間づくり	事業番号	12	連番

R3年度

Goal(目標)	第7次総合計画の内容を住民に周知し、役場の仕事を知ってもらおう。また、実践したことを検証、評価し、公表することで住民の理解を得る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画事業の新規事業の追加等整理を行う。 ・各課の実績をまとめる。 ・ホームページで進行管理検証シートを公表する。

R3年度

Do(実行)		R3実績見込額				1,650,000円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	進行管理検証シートの公表	回	1	1	1	100%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各課の進行管理検証シートをとりまとめ、公表した。 ・昨年と今年の評価を比較し、検証を行った。 ・まちづくり自分ゴト化アンケート、シニアライフワークシートの作成をおした後期計画の策定を行った。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に当該年度の11月末時点での検証を依頼→4月に最終検証を依頼→6月に議会報告、公表という流れで実施したが、検証から次年度の要求への根拠となっているかどうか不明で、早くも形骸化が懸念される。一つ一つの事業毎の検証が必要かどうか検討が必要。 					

R3年度

評価	C		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	C	評価理由： 検証シートの存在感を示すように総務課と連携すべき					

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを絞った検証を(経常経費的な事業は除くとか) ・ ・

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	国際交流の推進	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	国際交流事業	事業番号	1678		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	17	連番

R3年度

Goal(目標)	大韓民国江原道楊口郡と青少年交流、民間団体交流、職員交流などを行うことで、他国の文化や制度を知り、人材育成や地域間の交友を深める
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者間の協議 ・首長オンライン会談の実施

R3年度

Do(実行)		R3実績額	0			
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	首長オンライン会談	回	1	1	1	100%
②						
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・町長と楊口郡守のオンライン会談を開催予定（12月24日） 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・担当者間での認識に差異でないよう定期的な連絡が必要。 ・コロナが収束した際にはすぐにでも交流事業が再開できるよう担当者間で密な連絡を取り合う必要がある。 				

R3年度

評価	C
----	---

担当課長評価

評価	C
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

評価理由：	コロナウイルス感染症が落ち着くまでは、オンラインなどで関係性の維持を図ること。
-------	---

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者協議を実施の上、今後の交流事業の計画を立てていく。 ・継続課題である物的交流について協議を行う。

